

令和6年度
災害派遣福祉チーム静岡DWAT

スキルアップ研修会

日時：令和6年12月17日(火) 13時～16時

場所：グランシップ11階会議ホール風

主催：静岡県

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

静岡県災害福祉広域支援ネットワーク

目 次

・名簿	1
・開催要項	4
・事務局説明	7
・講義	17
・報告①	25
・報告①-2	33
・報告②	41

令和6年度 静岡DWA Tスキルアップ研修会 登録員参加者名簿

No.	グループ	所属名	部署名	氏名	派遣実績	支部
1	1	川奈臨海学園	児童育成課	瀬戸 純也	熱海、1.5次、志賀町	熱海伊東
2	1	川奈臨海学園	児童育成課	寺川 信晴	なし	熱海伊東
3	1	社会福祉法人熱海市社会福祉協議会	地域福祉係	島田 友香	なし	熱海伊東
4	2	NPO法人エシカファーム	相談支援事業所ステップ	鈴木 弓子	1.5次×2回	駿東田方
5	2	沼津市立高尾園	介護	加藤 博士	なし	駿東田方
6	3	沼津市立高尾園	事務所	横尾 和季	なし	駿東田方
7	3	社会福祉法人寿康会	特別養護老人ホーム 徳風園	柴田 和之	熱海、志賀町	駿東田方
8	1	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	大倉 浩人	なし	駿東田方
9	3	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	高橋 明利	なし	駿東田方
10	4	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	田村 章子	なし	駿東田方
11	4	社会福祉法人共済福祉会	相談支援事業所りべルテ	山口 幸子	熱海×2回、志賀町、1.5次	駿東田方
12	2	社会福祉法人共済福祉会	伊豆ライフケアホーム	石井 輝	なし	駿東田方
13	4	社会福祉法人共済福祉会	伊豆ライフケアホーム	木下 さやか	なし	駿東田方
14	5	特別養護老人ホーム御寿園	事務長	梶山 成章	なし	駿東田方
15	2	相談支援事業所ふあいん		松木 洋平	志賀町	駿東田方
16	3	相談支援事業所ふあいん		柳沢 亜樹子	七尾市	駿東田方
17	4	沼津フジビューホーム		猪又 吉一	熱海	駿東田方
18	6	一般社団法人発達ネット	GLAD	佐野 譲	志賀町、1.5次	富士
19	5	芙蓉会	みざわ園	加藤 光	七尾市	富士
20	5	芙蓉会	ひまわり園	田村 絵美	熱海、1.5次	富士
21	6	芙蓉会	ひまわり園	佐野 朋子	志賀町	富士
22	5	社会福祉法人誠信会	富士市吉原中部地域包括支援センター	石原 正美	倉敷、熱海	富士
23	6	静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	児童育成課	渡邊 泰史	なし	静岡
24	6	特別養護老人ホーム竜爪園	地域支援課	福貴 稔	1.5次	静岡
25	7	特別養護老人ホーム竜爪園	地域支援課	小林 亜由香	志賀町	静岡
26	8	特別養護老人ホーム竜爪園	施設部	瀧浪 千恵	1.5次	静岡
27	7	社会福祉法人天竜厚生会	登呂の家ケアサポートセンター	内野 謙一	なし	静岡
28	8	静岡手をつなぐ育成の会	ラポール・ファーム	望月 渉	なし	静岡
29	7	玉柏会	総務	小長谷 英春	1.5次	静岡
30	8	玉柏会	支援	齋藤 雅志	1.5次	静岡
31	8	社会福祉法人春風寮	児童養護施設春風寮	大塚 允人	志賀町、1.5次	志太榛原
32	7	社会福祉法人春風寮	地域小規模児童養護施設さくらの家	伊東 美樹	なし	志太榛原
33	9	ケアセンターゆうゆう		曾根 晃一	熱海、七尾市、志賀町、1.5次	志太榛原
34	9	社会福祉法人遠州中央福祉会	法人本部	鈴木 教之	なし	中東遠
35	9	社会福祉法人なごみかぜ	就労B事業所なごみかぜ工房	浦鬼 有祐	なし	中東遠
36	9	社会福祉法人なごみかぜ	生活介護事業所風里	根津 友旗	なし	中東遠
37	10	天竜厚生会グループホーム		鈴木 康利	志賀町	西部
38	12	社会福祉法人天竜厚生会	浜名	青木 文	なし	西部
39	10	社会福祉法人天竜厚生会	天竜ワークキャンパス	秋葉 聡	熱海	西部
40	11	長上苑	短期入所	高木 秀晃	なし	西部
41	10	峰栄会	特別養護老人ホームきじの里	平 美佳	なし	西部
42	11	峰栄会	自立援助ホームきじの里	山口 隼司	1.5次	西部
43	12	峰栄会	認定こども園きじの里	神谷 翔太	なし	西部
44	11	社会福祉法人慈恵会	特別養護老人ホーム西島寮	美濃 幸弘	熱海	西部
45	11	社会福祉法人慈恵会	ケアハウス西島	大門 優	なし	西部
46	12	慈照園	指導員	高橋 浩万	なし	西部
47	12	小羊学園	法人本部	古橋 誠	熱海、1.5次	西部
48	10	社会福祉法人あそしえ	あぐり	永井 陽子	なし	西部

令和6年度 静岡DWA Tスキルアップ研修会 登録員参加者名簿(グループ別)

No.	グループ	所属名	部署名	氏名	派遣実績	支部
1	1	川奈臨海学園	児童育成課	瀬戸 純也	熱海、1.5次、志賀町	熱海伊東
2	1	川奈臨海学園	児童育成課	寺川 信晴	なし	熱海伊東
3	1	社会福祉法人熱海市社会福祉協議会	地域福祉係	島田 友香	なし	熱海伊東
8	1	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	大倉 浩人	なし	駿東田方
4	2	NPO法人エシカファーム	相談支援事業所ステップ	鈴木 弓子	1.5次	駿東田方
5	2	沼津市立高尾園	介護	加藤 博士	なし	駿東田方
12	2	社会福祉法人共済福祉会	伊豆ライフケアホーム	石井 輝	なし	駿東田方
15	2	相談支援事業所ふあいん		松木 洋平	志賀町	駿東田方
6	3	沼津市立高尾園	事務所	横尾 和季	なし	駿東田方
7	3	社会福祉法人寿康会	特別養護老人ホーム 徳風園	柴田 和之	熱海、志賀町	駿東田方
9	3	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	高橋 明利	なし	駿東田方
16	3	相談支援事業所ふあいん		柳沢 亜樹子	七尾市	駿東田方
10	4	社会福祉法人湧泉会	居宅介護支援センターかわせみ	田村 章子	なし	駿東田方
11	4	社会福祉法人共済福祉会	相談支援事業所リベルテ	山口 幸子	熱海、志賀町、1.5次	駿東田方
13	4	社会福祉法人共済福祉会	伊豆ライフケアホーム	木下 さやか	なし	駿東田方
17	4	沼津フジビューホーム		猪又 吉一	熱海	駿東田方
14	5	特別養護老人ホーム御寿園	事務長	梶山 成章	なし	駿東田方
19	5	芙蓉会	みぎわ園	加藤 光	七尾市	富士
20	5	芙蓉会	ひまわり園	田村 絵美	熱海、1.5次	富士
22	5	社会福祉法人誠信会	富士市吉原中部地域包括支援センター	石原 正美	倉敷、熱海	富士
18	6	一般社団法人発達ネット	GLAD	佐野 譲	志賀町、1.5次	富士
21	6	芙蓉会	ひまわり園	佐野 朋子	志賀町	富士
23	6	静岡市心身障害児福祉センターいこいの家	児童育成課	渡邊 泰史	なし	静岡
24	6	特別養護老人ホーム竜爪園	地域支援課	福貴 稔	1.5次	静岡
25	7	特別養護老人ホーム竜爪園	地域支援課	小林 亜由香	志賀町	静岡
27	7	社会福祉法人天竜厚生会	登呂の家ケアサポートセンター	内野 謙一	なし	静岡
29	7	玉柏会	総務	小長谷 英春	1.5次	静岡
32	7	社会福祉法人春風寮	地域小規模児童養護施設さくらの家	伊東 美樹	なし	志太榛原
26	8	特別養護老人ホーム竜爪園	施設部	瀧浪 千恵	1.5次	静岡
28	8	静岡手をつなぐ育成の会	ラポール・ファーム	望月 渉	なし	静岡
30	8	玉柏会	支援	齋藤 雅志	1.5次	静岡
31	8	社会福祉法人春風寮	児童養護施設春風寮	大塚 允人	志賀町、1.5次	志太榛原
33	9	ケアセンターゆうゆう		曾根 晃一	熱海、七尾市、志賀町、1.5次	志太榛原
34	9	社会福祉法人遠州中央福祉会	法人本部	鈴木 教之	なし	中東遠
35	9	社会福祉法人なごみかぜ	就労B事業所なごみかぜ工房	浦鬼 有祐	なし	中東遠
36	9	社会福祉法人なごみかぜ	生活介護事業所風里	根津 友旗	なし	中東遠
37	10	天竜厚生会グループホーム		鈴木 康利	志賀町	西部
39	10	社会福祉法人天竜厚生会	天竜ワークキャンパス	秋葉 聡	熱海	西部
41	10	峰栄会	特別養護老人ホームきじの里	平 美佳	なし	西部
48	10	社会福祉法人あそしえ	あぐり	永井 陽子	なし	西部
40	11	長上苑	短期入所	高木 秀晃	なし	西部
42	11	峰栄会	自立援助ホームきじの里	山口 隼司	1.5次	西部
44	11	社会福祉法人慈恵会	特別養護老人ホーム西島寮	美濃 幸弘	熱海	西部
45	11	社会福祉法人慈恵会	ケアハウス西島	大門 優	なし	西部
38	12	社会福祉法人天竜厚生会	浜名	青木 文	なし	西部
43	12	峰栄会	認定こども園きじの里	神谷 翔太	なし	西部
46	12	慈照園	指導員	高橋 浩万	なし	西部
47	12	小羊学園	法人本部	古橋 誠	熱海、1.5次	西部

令和6年度 静岡DWA Tスキルアップ研修会 参加者名簿

【オブザーバー】

No.	所属名	部署名	氏名
1	静岡県	危機管理部危機情報課	西島 善彰
2	伊東市役所	高齢者福祉課	大住 正吾
3	伊東市役所	高齢者福祉課	麻生 みよ子
4	御殿場市役所	長寿福祉課	岩田 紘明
5	御殿場市役所	長寿福祉課	芹澤 明日美
6	沼津市	福祉企画課	井出 昇
7	富士市役所	福祉部高齢者支援課	片岡 大典
8	富士市役所	福祉部高齢者支援課	内野 友貴
9	焼津市役所	地域包括ケア推進課	田中 進
10	牧之原市役所	社会福祉課	河原 瑞穂
11	牧之原市役所	社会福祉課	河原崎 剛
12	牧之原市役所	社会福祉課	田中 和彦
13	牧之原市役所	社会福祉課	渡辺 結可里
14	牧之原市社会福祉協議会	地域福祉課	吉添 由希子
15	掛川市	健康福祉部 福祉課	秋山 弘明
16	掛川市役所	危機管理課	柏當 梨乃
17	菊川市	長寿介護課	水野 由佳子
18	湖西市	危機管理課	味岡 和季
19	湖西市	健康増進課	稲葉 智恵
20	湖西市	高齢者福祉課	井口 一博
21	静岡県介護福祉士会	災害支援委員会	小楠 隆義
22	静岡県介護福祉士会	災害支援委員会	宮崎 節子
23	静岡県介護福祉士会	災害支援委員会	杉本 洋子

【静岡県】

No.	所属名	部署名	氏名
1	静岡県	健康福祉部 福祉長寿政策課長	村松 哲也
2	静岡県	健康福祉部 福祉長寿政策課班長	内田 知康

【事務局】

No.	所属名	部署名	氏名
1	静岡県社会福祉協議会	福祉企画部 経営支援課長	村松 奈々
2	静岡県社会福祉協議会	福祉企画部 経営支援課主幹	寺澤 友裕
3	静岡県社会福祉協議会	福祉企画部 経営支援課主任	太田 美佳

令和6年度災害派遣福祉チーム静岡 DWAT

スキルアップ研修会

【開催要項】



1 目 的

静岡 DWAT の最大のミッションである災害関連死の防止、被災地の自立支援を果たすためには、静岡 DWAT 内はもちろんのこと、他都道府県 DWAT、避難所運営に関わる運営責任者や、各支援団体、行政等との連携・調整が必要です。

今期のスキルアップ研修では、1月1日に発災した、能登半島地震における静岡 DWAT の支援活動を振り返り、派遣経験がない DWAT チーム員とも情報を共有し、避難所における具体的な活動や、避難所の閉所（地域移行）の支援等について学び、今後の静岡 DWAT の支援活動につなげることを目的に開催します。

2 日 時 令和6年12月17日（火）13:00～16:00

3 開催場所 グランシップ 11 階会議ホール風
（静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3-1）

4 参加対象 第1期から第9期静岡 DWAT 登録員 356 名
※オブザーバーとして、市町行政、ネットワーク団体、県内外関係者の方にも御案内いたします。

5 申 込 静岡 DWAT 事務局
別紙の参加申込書より、11月29日（金）までにお申込みください。
e-mail s_dcat@shizuoka-wel.jp / FAX 054-251-7508

6 問合せ先 〒420-8670 静岡市葵区駿府町 1-70
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会福祉企画部経営支援課
TEL 054-254-5231 E-mail: s_dcat@shizuoka-wel.jp
担当：寺澤・村松・太田

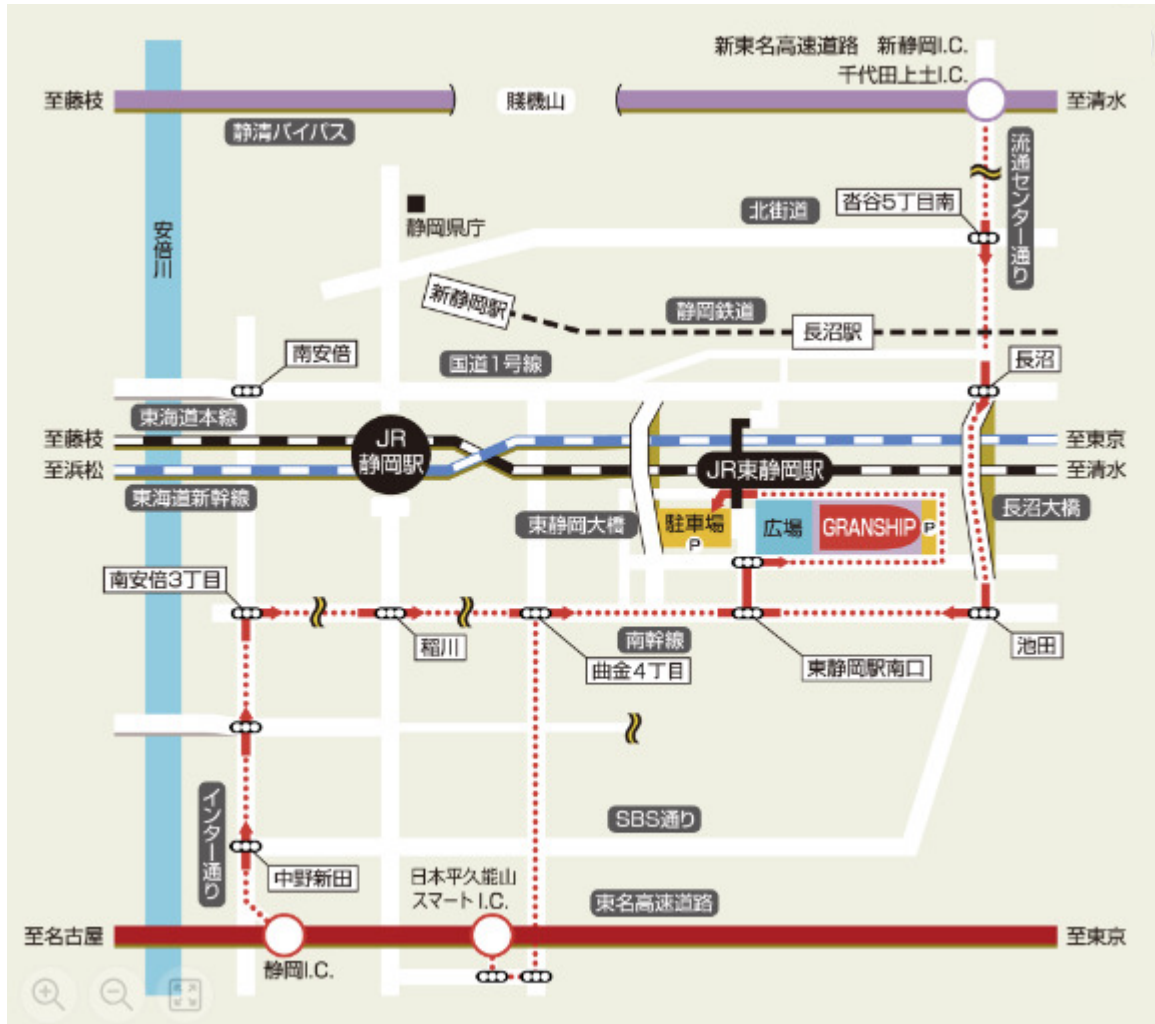
7 プログラム

時 間	内 容
12：30～	受付開始
13：00～13：05 (5分)	開会挨拶 静岡県健康福祉部福祉長寿政策課長 村松 哲也 氏
13：05～13：10 (5分)	事務局説明 能登半島地震における静岡 DWAT の派遣活動（概要）
13：10～13：40 (30分)	講義 求められる DWAT 登録員の役割・課題 ～能登半島地震における静岡 DWAT の活動を通して～ 講師：静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 教授 静岡DWATアドバイザー 鈴木 俊文 氏
13：40～14：10 (30分)	報告 1.5 次避難所（金沢市スポーツセンター）における支援活動 ・アセスメントから避難所の退所支援まで （静岡 DWAT 登録員） （福）峰栄会 特別養護老人ホームさぎの宮寮 施設長 高杉 威一郎 氏 （福）蒼樹会 特別養護老人ホームさつき園 施設長 杉山 弘年 氏
14：10～14：20	休憩
14：20～15：50 (90分) ※適宜休憩	報告及び演習・発表 ① 七尾市・志賀町における活動 ・被災地の自立支援を促す地域移行まで （静岡 DWAT 登録員） （福）長泉町社会福祉協議会 渡邊 麻由 氏 （福）芙蓉会 児童養護施設ひまわり園 赤池 花那子 氏 （福）富水会 特別養護老人ホーム第二開寿園 星野 慎二 氏 実際に派遣された登録員から直接話を聞き、現地での活動内容を知り、そこから見える静岡の強み・課題について、グループワークをとおして考えます。
15：50～16：00 (10分)	ま と め 静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 教授 静岡DWATアドバイザー 鈴木 俊文 氏
16：00	閉 会

8 会場案内

＜静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」＞

会場：11 階 会議ホール・風



- J R 東静岡駅南口隣接（メインエントランスまで徒歩約 3 分）
- 静岡鉄道 長沼駅徒歩約 1 0 分。
- 車では東名高速道路
 静岡I.C.から6km、20分／日本平久能山スマートI.C.から4km、10分
 新東名高速道路 新静岡I.C.から9km、15分
 静岡バイパス 千代田上土I.C.から4 km、1 0 分。

- 駐車場について 無料駐車場はありません
- ※ グランシップ西側駐車場
 200円／1時間（グランシップご利用の方は1時間100円）
 ※ 館内の精算機でお帰りの際に精算して下さい。
 ※ 入庫後24時間最大1,500円

静岡DWAT スキルアップ研修会



令和6年12月17日(火)



静岡県災害福祉広域支援ネットワーク事務局
社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
福祉企画部経営支援課

静岡DWAT登録員養成状況 (令和6年9月現在)

	1・2期生 (H29)	3・4期生 (H30)	5期生 (R01)	6期生 (R03)	7期生 (R04)	8期生 (R05)	9期生 (R06)	合 計
男性	58	65	22	32	17	25	35	254名
女性	18	19	12	13	8	13	18	101名
合計	76	84	34	45	25	38	53	355名

<登録員が保有している主な資格>

社会福祉士	介護福祉士
介護支援専門員	精神保健福祉士
理学・作業療法士	管理栄養士
看護師・准看護師	臨床心理士
幼稚園教諭	保育士
福祉用具専門相談員	ふじのくに防災士
	など



令和6年度養成研修集合写真

令和6年能登半島地震の概要

- 発生時刻 1月1日16時10分
- マグニチュード 7.6(暫定値)
- 発生場所 石川県能登地方(輪島の東北東30km付近) 深さ 16km
- 震度 【最大震度7】石川県の志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測
- 地震活動の状況
1日21時00分現在 震度1以上を観測した地震が59回発生(震度7:1回 震度5強:3回 震度5弱:5回 震度4:14回 震度3:28回 震度2:8回)
- 津波警報等の発表状況(1月1日20時30分発表)
津波警報 山形県 新潟県上中下越 佐渡 富山県
石川県能登 石川県加賀 福井県 兵庫県北部



令和6年能登半島地震の被害

- 死者 469人 内災害関連死 241人
- 行方不明者 2人
- 負傷者 1,254人 (重傷者 378人 軽傷者 876人)
- 住宅被害 96,151件 (全壊・半壊・一部損壊・床上浸水・床下浸水)
- 避難者 34,173人 (最大) ※12月10日時点51人
- 停電 39,900戸 (最大)
- 携帯支障 70～80% (最大)
- 断水 110,000戸 (最大)

石川県庁HP 2024.12.10



七尾市内



能登町内



輪島市内

大規模地震における災害関連死

災害名称	死者	災害関連死
東日本大震災	18,420人 ※行方不明者含 (警察庁 2024. 3. 8)	3,802人 (復興庁 2023. 12. 31)
熊本地震	277人 (NHK報道 2024. 8. 14)	221人※79.8%
能登半島地震	469人 (石川県庁 2024. 12. 10)	241人※51.4%

災害関連死の原因等

- ・避難所等における生活の肉体的、精神的疲労が3割
- ・避難所等への移動中の肉体・精神的疲労が2割
- ・避難所等での厳しい生活環境がその後の健康状態に影響

避難環境や被災後の生活に適切な支援があれば助かったはず！助けられた命！
能登半島地震の災害関連死は、現在も増加中・・・

5

1 令和6年能登半島地震による人的・建物被害の状況について



【第177報 令和6年12月10日14時00分現在】

連絡先：危機対策課
(076-225-1482)

市町名	人的被害(人)					住家被害(棟)						非住家被害(棟)		
	死者	うち災害関連死※	行方不明者	負傷者		小計	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	小計	公共建物	その他
				重傷	軽傷									
金沢市					9	9	31	245	11480			11756		187
七尾市	38	33		34	3	75	512	4835	11066			16413	調査中	3988
小松市	1	1		1	1	3	1	77	6955			7033		
輪島市	174	73	2	213	303	692	2301	3926	4286			10513	199	11558
珠洲市	146	49		47	202	395	1748	2082	1747			5577	調査中	6147
加賀市							14	53	4308			4375		
羽咋市	3	2			7	10	61	486	3247			3794	61	461
かほく市							9	245	3000			3254		234
白山市	1	1			2	3			1093			1093		
能美市				1		1	1	13	2846			2860	9	
野々市市					1	1			672			672		
川北町									69			69		
津幡町				2		2	9	83	3329			3421		39
内灘町	4	4		6		10	123	563	2051			2737	29	634
志賀町	17	15		7	97	121	558	2452	4430	6	5	7451	6	3982
宝達志水町							12	78	1752			1842		143
中能登町	1	1		5	1	7	55	902	3244			4201	1	1452
穴水町	38	18		33	225	296	388	1294	1658			3340	調査中	2437
能登町	46	44		29	25	100	253	971	4526			5750	25	3801
計	469	241	2	378	876	1725	6076	18305	71759	6	5	96151	330	35063

※ 災害関連死：当該災害による負傷の悪化又は避難生活等における身体的負担による疾病により死亡し、災害弔慰金の支給等に関する法律（昭和48年法律第82号）に基づき災害が原因で死亡したものと認められたもの

※ 非住家被害については半壊以上のみ記載

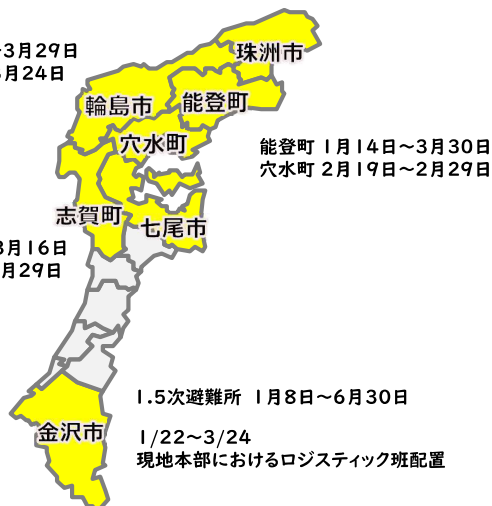
令和6年能登半島地震における全国のDWAT活動

初動

- 1月1日 発災
- 1月2日 石川県庁 石川県DWATチーム員へ派遣に係る調査
- 1月4日 厚労省、石川県、全社協とオンライン会議
※静岡DWAT事務局（中央センターアドバイザーチームとして）参加
- 1月5日 石川県から全都道府県へDWAT派遣要請
- 1月6日 全社協、石川県庁入り 活動方針検討
- 1月8日 DWATチーム活動開始
※先遣隊として静岡DWATから1名派遣

全都道府県から、延べ1,573名(6,097人日)のチーム員が活動
4月～6月は、1.5次避難所を拠点として活動。
※能登地域はオンコール体制
※全都道府県が活動を展開した初めての実践。

輪島市 2月17日～3月29日
珠洲市 3月9日～3月24日



【DWATの活動例】

- ① DWATが、認知症高齢者を抱える家族が避難所で孤立化している状況を把握し、地域包括支援センターに連絡し、介護サービス提供に繋げた。
- ② 障がい児が避難所内でパニック頻発し、母子が孤立するなか、DWATが提案し、避難所内に落ち着けるスペースの確保を行った。
- ③ 避難所内で対立する住民同士間にDWATが仲立ちし、居所移転の共同作業を進めることで、支えあう関係を構築した。

など

全国社会福祉法人経営者協議会制度・政策委員会

7

令和6年能登半島地震における介護職員等の応援派遣

■ 能登北部・能登中部の一般避難所



■ 1.5次避難所のメインアリーナ



■ 能登北部・能登中部の福祉施設 介護職員等の応援派遣

1月1日	発災
1月10日	厚労省から社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣依頼(1/12登録締切)
1月13日	応援派遣調整開始
1月14日	第1弾応援職員が石川県に向けて出発
1月15日	応援派遣開始～以降、6月末までに63施設に1,358名を派遣



←介護職員の応援派遣で全国初派遣となった福島県社会福祉事業団の出発式

■ 1.5次避難所のサブアリーナ(要介護者のエリア) 全国経営協による介護職員のブロック派遣

3月 近畿ブロック	7月 中国・四国ブロック
4月 九州ブロック	8月 北海道・東北ブロック
5月 北関東・信越ブロック	9月 東海・北陸ブロック
6月 南関東・甲静ブロック	

全国社会福祉法人経営者協議会制度・政策委員会

8

能登半島地震における静岡DWATの初動対応

期 日	内 容
1月4日(木)	① 全社協(中央センター)、石川県庁との緊急ウェブ会議に参加
1月5日(金)	① 第1回支援関係者情報共有会議を開催(県危機情報課、県福祉長寿政策課、県ボランティア協会、県共同募金会、県社協(DWAT、災害ボランティア)) ② 石川県知事から各都道府県知事宛てに災害派遣福祉チームの派遣要請が発出。 静岡DWAT登録員への派遣調整開始
1月6日(土)	① 全社協(中央センターアドバイザーチーム)先遣隊が現地入り。 (全社協法人振興部ほか)
1月8日(月)	① 静岡DWAT登録員(1名)を先遣隊として、1.5次避難所(金沢市いしかわ総合スポーツセンターアリーナ)へ派遣。(～14日) ② 静岡DWAT派遣シフト表の作成(活動場所:1.5次避難所、七尾市)
1月10日(火)	① 能登中部(七尾市)における一般避難所において、中央センターの派遣調整のもと静岡DWAT登録員(2名)の派遣を行う。 ② 静岡DWAT事務局職員1名を派遣(～15日/七尾市、志賀町で活動) ③ 第2回支援関係者情報共有会議を開催
1月13日(土)	① 静岡DWAT事務局1名を派遣 (～16日/七尾市、1.5次避難所で活動)

9

能登半島地震における静岡DWATの活動展開

期 日	内 容
1月12日(木)	夜 志賀町から石川県庁へDWAT派遣要請あり ※ DWAT派遣要請元: 志賀町健康福祉課
1月13日(金)	志賀町での先遣活動: 静岡DWAT登録員、事務局 ⇒健康福祉課と打合せ ※富来活性化センターにDWATを常駐する DWAT本部(石川県庁内)で静岡DWAT→熊本DWATへ引継ぎ
1月14日(土)	熊本DWATによる支援活動開始 @富来活性化センター
1月20日(金)	静岡DWATの活動地域を七尾市から志賀町へ移動(第6クール～)
1月24日(火)	志賀町小学校の再開に伴い静岡DWATの活動拠点を文化ホールに移動 ※ 志賀町のDWAT支援体制 @富来活性化センター: 熊本DWAT @文化ホール: 静岡DWAT ※2拠点体制
1月30日(月)	富来小学校の再開に伴い、66名の避難者が富来活性化センターに集約
1月31日(火)	熊本DWATの活動終了に伴い、富来活性化センターで愛知DCATが活動開始(引継ぎ)
2月5日(日)	下甘田防災センター・やすらぎ荘の閉鎖に伴い、志賀町地域交流センター(西山台)へ避難者が集約→北海道DWATでの巡回開始
2月9日(木)	滋賀DWATが富来活性化センターで愛知DCATと一緒に活動開始 @富来活性化センター: 愛知3名、滋賀3名 @文化ホール: 静岡4名、北海道3名
2月12日(月)	静岡DWATの富来活性化センター巡回開始→巡回: 志賀町地域交流センター(西山台)

10

静岡DWATの初動対応(派遣要請)

石川県→都道府県

厚 第 2055 号
令和 6 年 1 月 5 日

各都道府県知事 様

石川県知事 馳 浩
(公 印 省 略)

令和 6 年能登半島地震に係る災害派遣福祉チームの派遣について (依頼)

令和 6 年能登半島地震の発生に伴い、高齢者、障害者、子ども等の要配慮者が多くの避難所で生活しております。住宅の復旧等の目途が立たず、避難生活が長期化する状況が見込まれる中、今後、福祉的ニーズの増加等により、本県だけでの対応が困難なことが見込まれるため、貴都道府県の災害派遣福祉チームの派遣をお願いいたします。

派遣先や派遣期間等の詳細については、追って調整の上、ご連絡させていただきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、災害派遣福祉チーム派遣に係る費用は石川県が災害救助法による救助費から支給いたしますので、各都道府県は費用をとりまとめて石川県へ救助法による求償を行ってください。

(参考「令和 6 年能登半島地震にかかる福祉避難所等に対する福祉関係職員等の派遣に係る費用の取扱いについて」)

(事務担当)

石川県健康福祉部厚生政策課
地域福祉グループ
TEL 076-225-1478

静岡県→静岡県社協

福 第 494 号
令和 6 年 1 月 8 日

社会福祉法人静岡県社会福祉協議会
会長 神原 啓文 様

静岡県知事 川勝 平太

石川県への災害派遣福祉チームの派遣要請について (依頼)

平成 29 年 3 月 29 日付けで締結した「災害時における福祉人材の派遣協力等に関する協定書」第 3 条に基づき、以下のとおり、災害派遣福祉チームの派遣協力を要請します。

記

1 根拠

令和 6 年 1 月 8 日付け全社法原第 408 号により、社会福祉法人全国社会福祉協議会から派遣要請があったため

2 派遣要請の内容

項 目	内 容
(1) 期 間	令和 6 年 1 月 10 日 (水) ~ 令和 6 年 1 月 31 日 (水) ※終了日は予定。
(2) 派遣場所	石川県金沢市 いしかわスポーツセンター メインアリーナ 石川県七尾市内設置避難所ほか
(3) 活動内容	避難者 (要支援者) のスクリーニング等
(4) 人 数	原則として 1 クール 4 日間とし、各クール 3 人

3 派遣費用

災害救助法の救助費にて費用弁償

4 その他

派遣者等が決まり次第、回答を別添連絡票によりお送りください。

担 当 健康福祉部福祉長寿政策課
企画総務班

静岡DWAT登録員の派遣

(1) 1.5次避難所(いしかわ総合スポーツセンター)

派遣期間	派遣クール	派遣元法人数	延べ派遣人数
1/8(月)~2/3(土)	11クール 原則4日間/1クール	11法人	11人(47人日) ※各クール1人
3/31(日)~5/2(木)	10クール 5日間/1クール	17法人	18人(90人日) ※各クール1~3人

※5月3日(金)以降は、石川DWAT、群馬DWATが対応

(2)能登中部(七尾市、志賀町)における支援活動

派遣期間	派遣クール	派遣元法人数	延べ派遣人数
1/10(水)~3/1(金)	25クール 4日間/1クール	31法人	51人(200人日) ※各クール2人

静岡DWAT派遣実績

延べ59法人、80人(337人日)(実数:37法人69人)

静岡DWAT登録員の派遣

[illegible]

13

静岡DWAT事務局活動

●現地活動以外の事務局の動き

- ・派遣調整に係る連絡調整、文書の発出
- ・派遣前オリエンテーション(1時間程度)
- ・中央センターとのWEB会議参加
(2日に1回程度)
- ・登録員からの質問など活動に関する
問い合わせ対応
- ・アドバイザーとの情報共有
- ・派遣に係る費用精算
- ・日報等のデータ管理 などなど

令和6年能登半島地震 派遣者アンケート

○不活発な様子が見られていた避難者の方々が、ダンボールベットやパーティションを組み立て始めたら積極的に参加され、子ども達も大人と一緒に声を掛け合いながら取り組まれていた光景が印象的だった。

○他県の保健師の方々と、現場でタイムリーに情報共有ができたことは、早い気付きへ繋がったと感じる。

○受験を控えていた中学生。教科書も勉強道具もなく宿泊する。全利用者数からみるとマイノリティだが、何とか勉強ができる準備をして2次避難所へ案内できればと感じた。

○発災から3週目の活動期間で、避難者メンタル面が心配だった。

○同じ静岡DWATメンバーでも初対面の方との活動だった。短い時間だったが、自分たちが話あって決めたミッションを実施することができた。

15

令和6年能登半島地震 派遣者アンケート

○4日間があっという間すぎて、何も完成せずに終わってしまった。まだまだやり足りない感があった。それでも次の静岡DWATのメンバーが自分よりもきっと上手く引き継いでくれると思ったので、安心して終了することができた。

○避難者の食事。食事はたくさんあるがおにぎり、パンなど保存のきくものばかりで避難者からは「野菜が食べたい、魚が食べたい」という意見を聞くことができた。

○避難所は高齢者や貧困、身内の少ない人など社会的弱者が多く残っていると現地で感じた。そういう人ほど避難所が閉鎖した後、次の問題が生じてくると思う。

16

派遣者振り返りの会

日時: 令和6年6月17日(月)及び24日(月)
いずれも18時～19時30分(オンライン開催)

<1. 5次避難所への派遣者>

○一人で活動する時間があり、同じ思いを共有できる人がいないことが大変だった。

○他県チームがリーダー役だった際、情報共有を依頼しても忙しさから応えてもらえないことがあった。

○出口支援は短期間では難しかった。

○オープンチャットは有効なツールであった。現地の情報やその後の変化を知ることができた。

○避難所に関わる様々な団体・場所によってフォーマットに違いがあり、持っている情報にも違いがあったので、共有できると良かった。

17

派遣者振り返りの会

<志賀町・七尾市への派遣者>

○初期では、各地の避難所の状況がわからず、要配慮者がどこにいるのかを確認する活動だった。

○他県チームに引継ぐ際に、アセスメントを紙ベースで引継ぎしたが、様式が決まっていなかったので難しかった。

○避難所閉鎖に向けて、地元につなげたいと思っても避難所や仮設住宅がなく、県外施設への移動をお願いしたが本人の承諾が得られないため苦労した。自分たちで道筋をつくる積極的な活動も必要だと感じた。

○避難所に残っている人たちがどうなったのか気になっており、自分自身で知ることもできずにモヤモヤしていた。

○最終盤の派遣クールで、静岡チーム撤収の際に、地域のどの方に引継ぐことができるのかわからなかった。事務局参加者が地元社協につないだことで地域で活動されている方を紹介していただくことができた。

18

白 紙

求められるDWAT登録員の役割・課題

-能登半島地震における静岡DWATの活動を通して-

鈴木 俊文

静岡県立大学短期大学部社会福祉学科 教授
静岡DWATアドバイザー

2022～2023年度研究

静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）階層別研修プログラムの開発に係る調査研究

-熱海市支援活動を事例としたエスノグラフィー制作-

令和4年度 静岡県立大学教員特別研究「地域の産業・文化・教育の振興に寄与する調査・研究及び学外機関等との共同研究」

研究の実施体制

研究代表者・責任者	静岡県立大学短期大学部 社会福祉学科・教授	鈴木 俊文
研究分担者	静岡県社会福祉協議会福祉企画部 経営支援課・課長	松永 和樹
研究分担者	静岡県社会福祉協議会福祉企画部 経営支援課・主任	渡邊 麻由
研究分担者	静岡県社会福祉協議会福祉企画部 経営支援課・主事	新村 友李
研究連携者	静岡県健康福祉部福祉長寿局 福祉長寿支援課・主事	細井 剣登

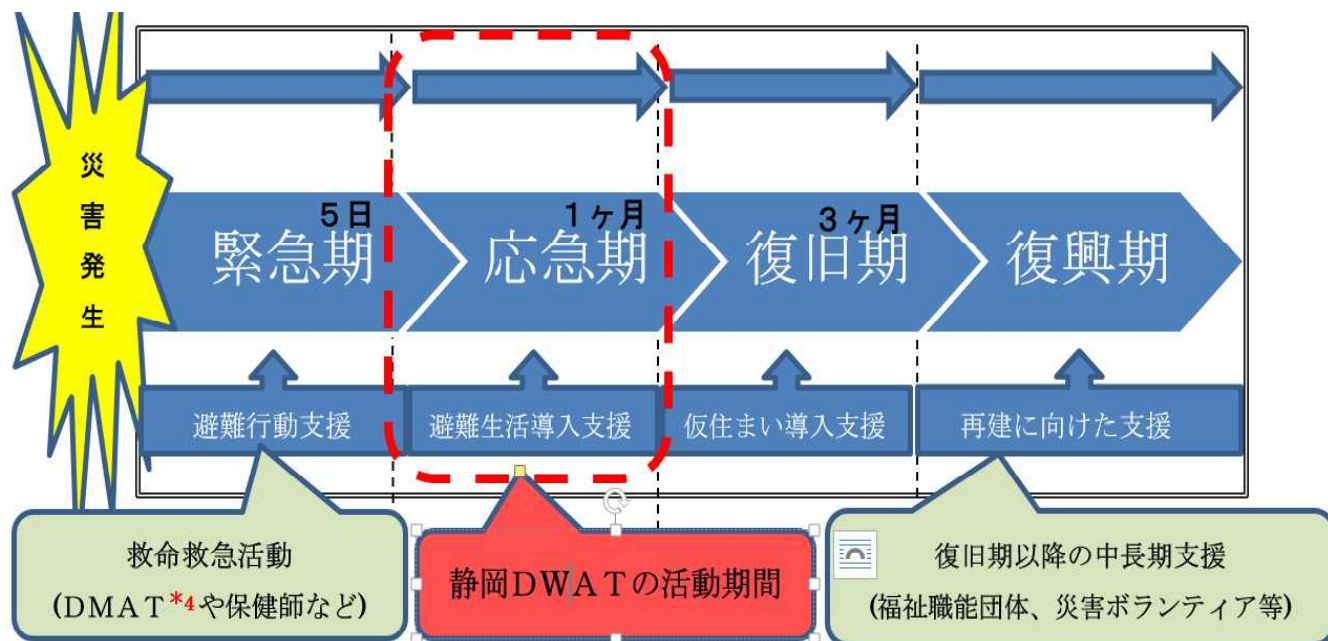
登録員養成研修 → DWAT活動 → 効果検証（調査研究） → スキルアップ研修

方法の
具体化

教材作成

課題の
明確化

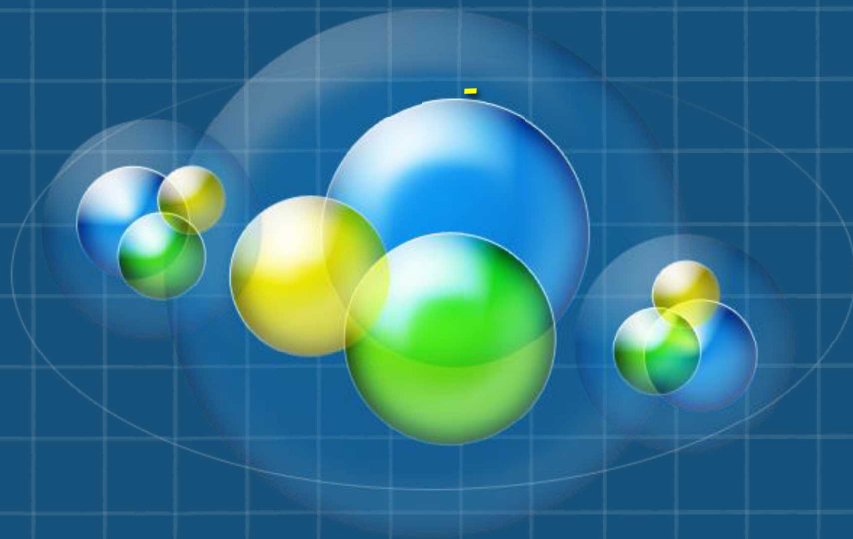
災害対応フェーズとDWAT活動の変化（近年の特徴）



DWAT発足時、応急期支援を担うチームという期待やイメージが非常に強かったが、近年（能登半島地震を含む）の災害対応では、支援活動の範囲（期間）が拡大している。

背景：豪雨等による局所的被害の多発（短期的支援）、1，5次避難所の開設等

活動内容例	具体例
ラウンド	保健師等と一緒に避難所内で被災者のヒアリング（ニーズ調査や体調確認等）を行う。これらの情報を記録に記載する。
課題分析・福祉的トリアージ	ラウンドで収集した情報をもとに課題分析を行う。主に、心身の状況と生活環境等との関連でアセスメントを行い、避難所内での必要な対応や自宅等避難所退所後の生活に向けての課題を捉える。災害関連死の心配や避難所内での持病の悪化、障害が環境に適応できない状態等、福祉避難所や病院等への搬送が必要と判断される場合は福祉的トリアージとして優先的な対応を決定し、医療・保健等の支援チームや行政等と支援連携を行う。
避難所内支援チームとの連携	避難所生活での対応課題に対して、医療・保健・福祉等と連携した対応をはかるために支援連携を行う。避難所内に設置された本部や情報共有、カンファレンス等を目的とした会議に参加し必要な検討や情報共有、支援連携を行う。
避難所外支援機関等との連携	被災者の個別の生活課題に応じた対応（避難所からの通所介護利用や必要な物品補充、地域生活への意向に向けた手続き等）を避難所外の支援機関と連携して行う。
相談支援	被災者個々の生活課題に応じた相談や制度利用等に関する情報提供を行う。避難所内では相談コーナーを設置して対応するほか、ラウンド等を通じて対応するケースもある。
各種調査	状況調査や、退所後の生活意向調査等、行政等と連携して行う調査。文章を読んだり書くことが困難な要配慮者の場合は聞き取りしながら代行するケースもある。
アクティビティ支援	体操やレクリエーションなど、避難所内でも可能な活動プログラムを企画し提供する。この活動を通して、長期化する避難生活における二次被害防止を目的に行う。
生活環境の整備	段差解消や段ボールベッドの導入など、被災者の心身の状況に応じたアセスメントから必要な環境整備を行う。機能訓練士等と連携したADLアセスメントと介護福祉職等による介護内容の両面からアセスメントを行う。
身体介護・生活支援	自立した生活が困難な被災者に対して、避難所内での移動や食事、入浴などの身体介護や生活支援を行う。介護福祉職チームと連携して行う。



能登半島地震におけるDWAT活動からみえた DWATの役割・課題

能登半島地震における私のかかわり(静岡DWAT)

避難所巡回型・常駐型支援

志賀町

1月12日～1月15日

1月20日～3月1日まで



避難所巡回型支援

七尾市

1月10日～2月末まで

避難所常駐型支援

金沢市

1月8日～2月3日

4月1日～5月2日まで

DWATとして初めての体験

避難所受入れという活動

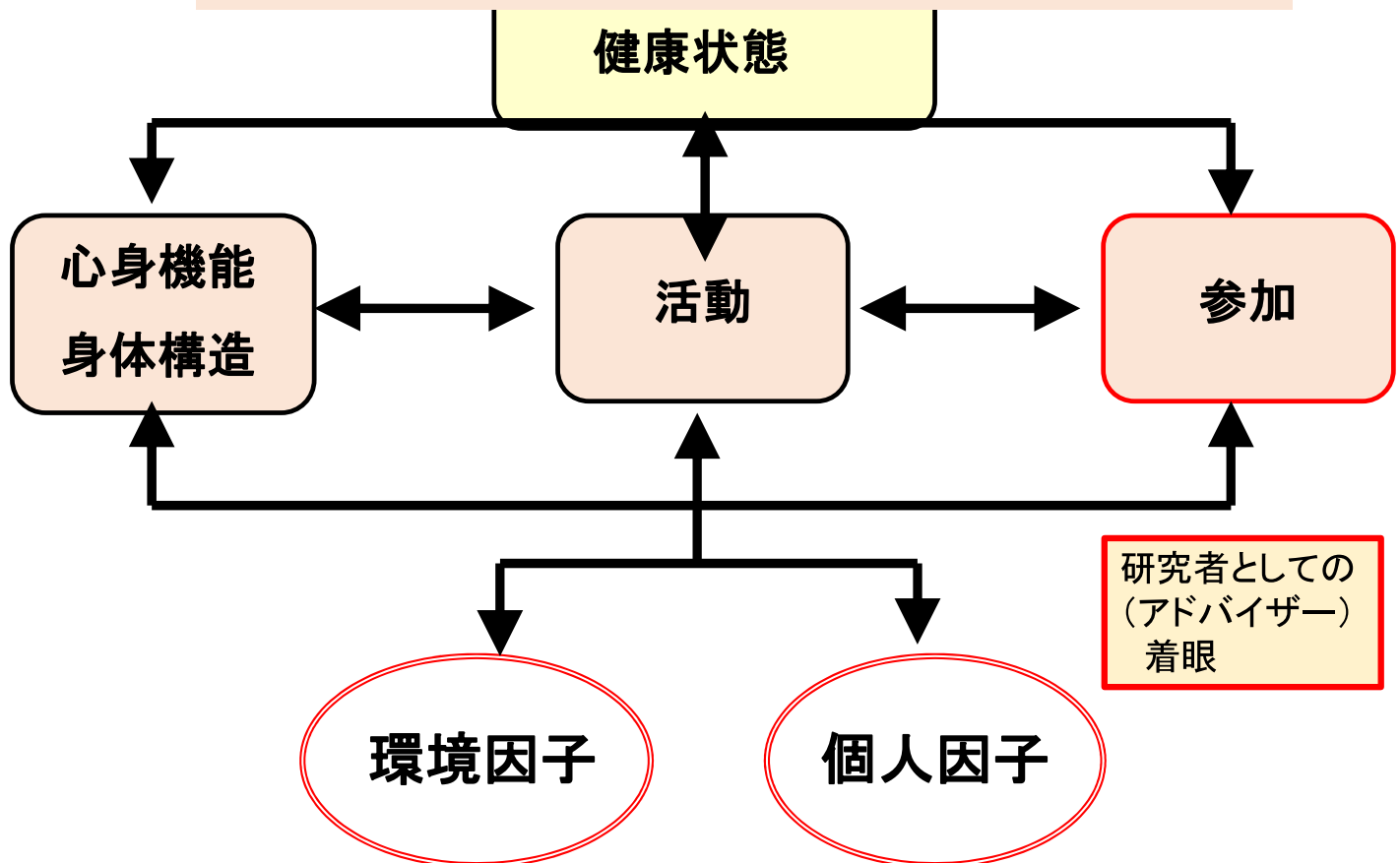
- ▶ 1.5次避難所では（1月活動）、**避難所受付業務**の支援に従事。
- ▶ 具体的には、被災者のテント割（生活場所の検討と決定等）業務等を石川県（県職員）と担当した。
- ▶ この対応には、医療的課題や福祉的課題、世帯状況（高齢夫婦や子ども世帯等）に応じて、**避難所内の配置や必要な環境、物資を考える役割**があり、この役割を保健師が行う問診と併せて、DWATが面談（**アセスメント**）を通して実施した。
- ▶ 1月活動では、連日、輪島、珠洲、穴水、七尾等から連日数多くの被災者が搬送され、この**新規受け入れを行うためには、同数の退所支援（2次避難所への移行）を行う必要**があった。**1.5次としての循環的役割**

避難所からの退所支援を振り返って（1.5次サブアリーナ）

- ▶ 退所支援の切り口（退所希望先の主な種類）は、「要介護認定後、施設入所希望」「要介護認定済みで仮設住宅＋介護サービス利用開始待ち」「要介護申請中で、施設入所待ち」等。
- ▶ このほか、自宅に帰りたい（避難前居住地は、輪島市、珠洲市、能登市、七尾市が中心で、地域の復旧状況的に帰ることは困難）等、退所先の意向と状況が合わないひと（判定により仮設住宅を利用できない含む）が多数。
- ▶ 避難者の年齢は60～90代が中心（60代の生活困窮者と85歳以上の要介護者等）。**2次避難所に移動したものの、環境に適応できず（本人の身体状況や認知症等による影響から、環境に適応できず）、1.5次避難所に戻ってきたケースもあり。**
- ▶ 家族介護者が不在、老々介護（家族介護者等がいるものの、家族介護者の介護力に課題がある場合が多い）、家族関係の不和等サブアリーナでは、常時介護職チームが10～15名配置（傾聴ボランティア含む）され、入所者の見守りのほか、支援者の観察が可能なパーティション型の個室スペースを整備し、支援にあたっていた。
- ▶ 生活支援の体制が整っているものの、入所者の多くは、退所先が決まらないまま2か月を超える避難所生活を継続している状況があった（**避難所生活の継続を望まれるケースも増えていた**）。
- ▶ この中で、**ADL（日常生活動作能力）低下が心配される**とともに、退所支援にあたってADL情報は、利用サービスの適合や利用可否にもかかわる非常に重要な情報として扱っていた（情報の更新と対応の必要性）

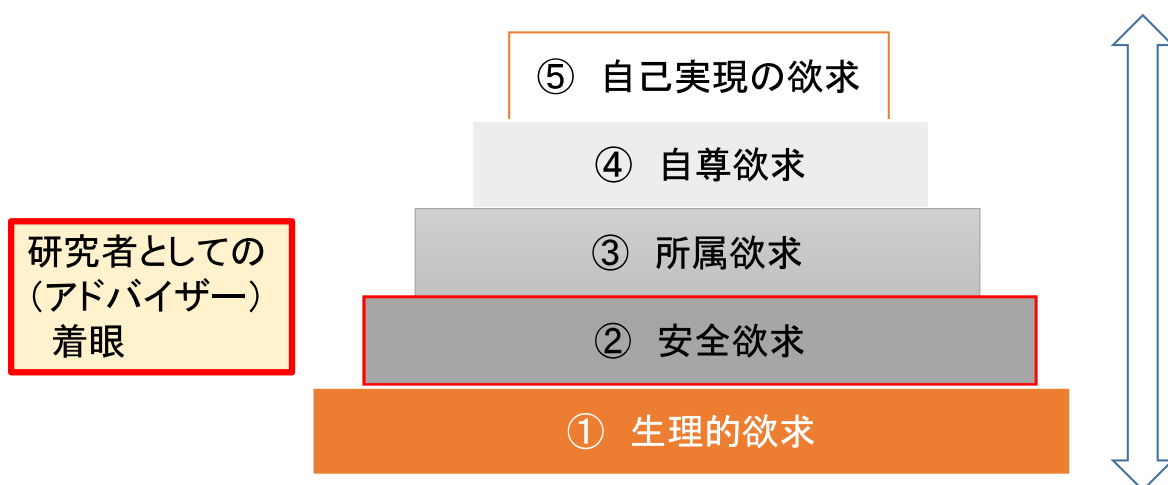
DWATの役割を発揮する(高める)ために
改めて重要だと感じたこと①

ICF(国際生活機能分類)を手掛かりに



DWATの役割を発揮する(高める)ために
改めて重要だと感じたこと②

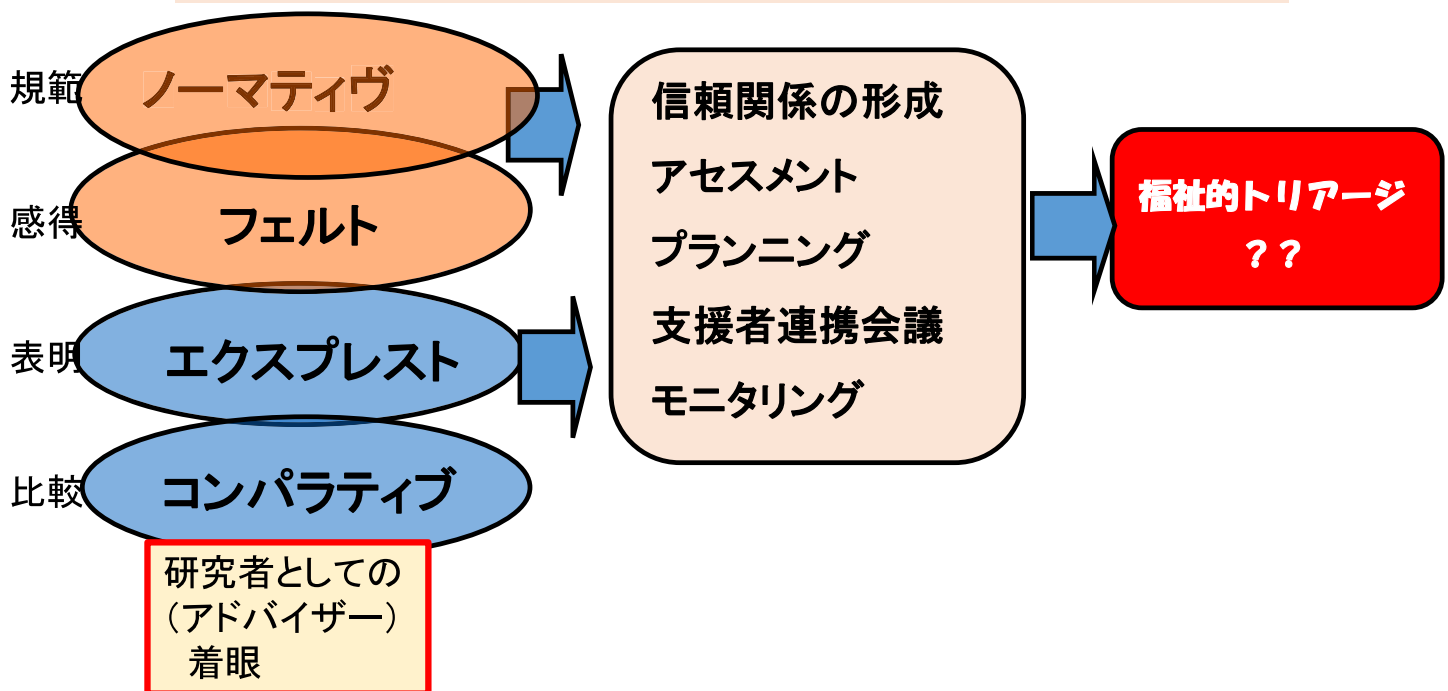
マズローの「A Theory of Human Motivation」を手掛かりに



災害支援において、優先度を考えた、トリアージ的観点は、非常に重要であるが、生活支援(生活機能の維持)を担ううえでは、見落としやすい観点が存在

DWATの役割を発揮する(高める)ために (維持するために)、改めて重要だと感じたこと③

ブラッドショー(Bradsbaw,J.)を手掛かりに



ニード論の考え方、支援として対応過程は、避難所支援(災害時支援)でも同じであり、非常に重要な観点。4つのニード(ニーズ)を捉えていくことの重要性を改めて実感。

DWATの役割を発揮する (高める) ために 改めて重要だと感じたこと④

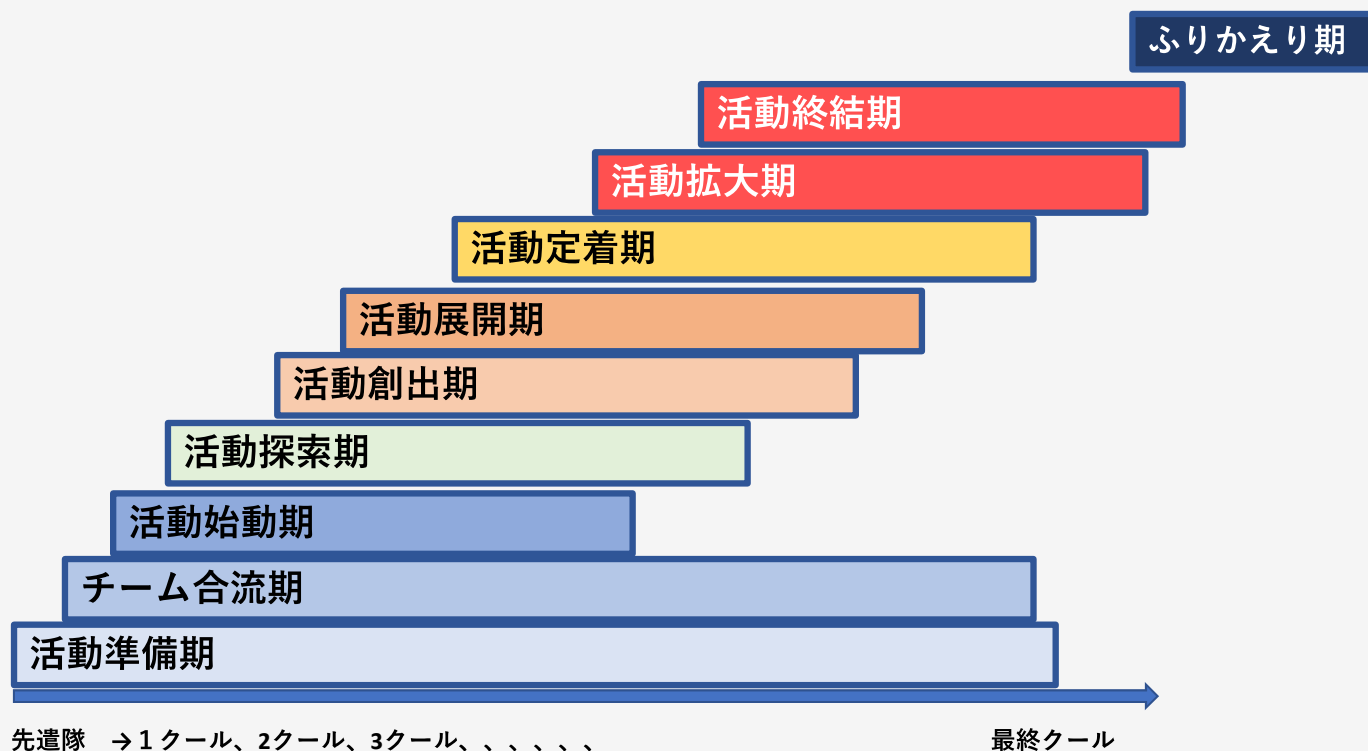
CSCAとPDCAを手掛かりに

- ▶ Command and Control (指揮と連携)
- ▶ Safety (安全確保)
- ▶ Communication (情報収集伝達)
- ▶ Assessment (評価)

研究者としての
(アドバイザー)
着眼

- Plan (計画)
- Do (実行)
- Check (評価)
- Action (対策・改善)

DWATの活動は、活動を通じて創出的に変化する（活動フェーズ）



鈴木俊文：2023年度日本介護福祉学会大会発表「災害派遣福祉チームの避難所活動における支援プロセスの概念化－支援活動としての業務行動・役割はいかに創出されるのか－」

白 紙

1.5次避難所（スポセン）における 支援活動

日時：令和6年12月17日(火)

場所：グランシップ11階

報告者：さぎの宮寮 施設長 高杉威一郎

令和6年 能登半島地震 静岡DWAT 活動報告

期間：令和6年1月8日～1月14日

場所：いしかわ総合スポーツセンター

報告者：社会福祉法人峰栄会

さぎの宮寮 高杉威一郎



2024.1.12 7:39 雨 鼓門

静岡DWAT派遣活動について

令和6年1月4日 静岡DWAT事務局から、派遣可能登録員についてメール

令和6年1月4日 さぎの宮寮から2名の派遣可能と回答する

令和6年1月6日 静岡DWAT事務局から、先遣隊としての派遣依頼がある

令和6年1月7日 17時～DWAT派遣隊ウェブ会議

令和6年1月8日 令和6年能登半島地震派遣開始～1月14日まで

1.5次避難所の利用について

○概要

- ・能登北部の要支援者（高齢・65歳以上、妊婦、乳幼児、障がい者）を被災地の1次避難所からライフラインの整った金沢市内の1.5次避難所に搬送
- ・スクリーニングした上で、ホテル等の2次避難所や病院に搬送

○期間：令和6年1月8日～

○場所

- ・1.5次避難所：いしかわスポーツセンター
- ・2次避難所：ホテル・旅館、公営住宅、民間賃貸住宅、介護施設等

静岡DWAT

1.5次避難所における支援活動

派遣期間：1/8(月)～1/14(日)

活動場所：いしかわ総合スポーツセンター（スポセン）

定員：400人（テント数約250個）

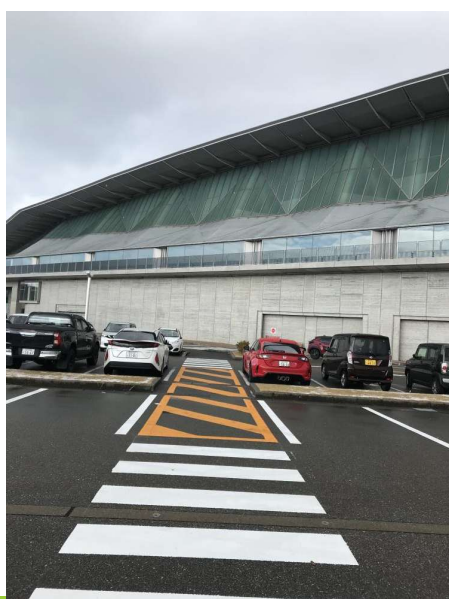
1月8日10時30分 石川県庁1403号室 MTG

13時 スポセン到着

スポセン内 視察 石川DWAT 群馬DWAT（先遣隊）

保健師チーム DMAT JRAT 内閣府 厚生労働省 文部科学省

いしかわ総合スポーツセンター（スポセン）



いしかわ総合スポーツセンターHP

令和6年1月8日(月)

13時

石川DWAT、群馬DWATとスポセン内の視察を行う。

テント約250 定員400名

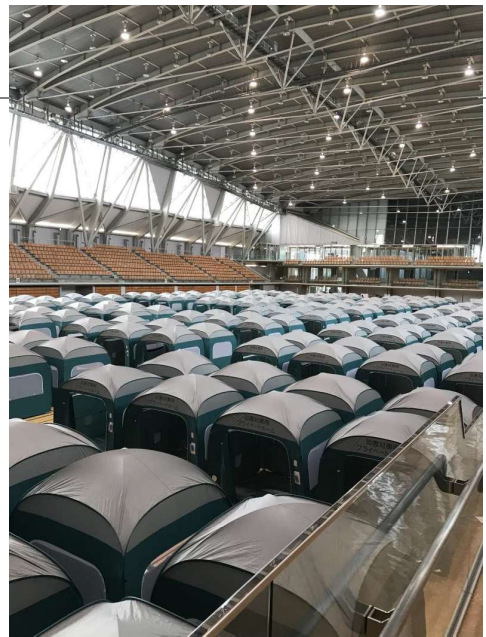
トイレの場所

シャワールームの場所

食堂

機材置き場の確認を行う

数名の入所あり



令和6年1月9日～1月14日

静岡DWAT活動として、石川県庁職員の受付における福祉的トリアージを行う事となる

受付担当者（県庁職員）とのコミュニケーション

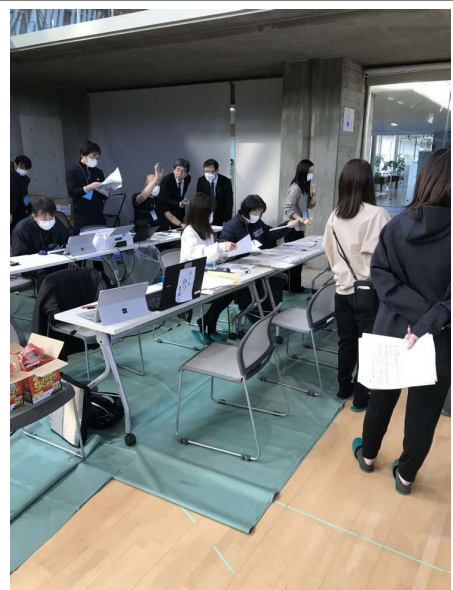
DMAT、保健師チーム、JRATと連携

入所のイメージを作成、共有

体調不良者の利用方法を保健師T、DMATと確認。ルール決め。発熱者、嘔吐下痢者の案内

退所支援の確認（旅行代理店）

聴覚障害者の配置



(左) 運営イメージ

(右) 使用テント

運営イメージ

性別	年齢	人数	備考
女性	成人	15	家族
女性	児童	10	家族
男性	成人	15	家族
男性	児童	10	家族
合計		50	

使用テント

性別	年齢	人数	備考
女性	成人	15	家族
女性	児童	10	家族
男性	成人	15	家族
男性	児童	10	家族
合計		50	

運営イメージ

性別	年齢	人数	備考
女性	成人	15	家族
女性	児童	10	家族
男性	成人	15	家族
男性	児童	10	家族
合計		50	

使用テント

性別	年齢	人数	備考
女性	成人	15	家族
女性	児童	10	家族
男性	成人	15	家族
男性	児童	10	家族
合計		50	

1/8-1/12

- ファミリー層が多い
- 一人暮らし高齢者
- 町（30人規模でバス到着）
- 発熱者の受け入れ
- 妊婦さんの案内（妊婦さん避難所へのアナウンス）
- 外国人留学生（日本語勉強中）



1/11-13

高齢者介護層が多い

一人で避難所にいたところ金沢市内の家族へ。避難所で認知症が進んだ

歩行が悪くなった。二次避難所への案内が遅れる。

災害とは別の問題を抱えている方がいる。（家庭・受験）

1.5次避難所へ宿泊しないで直接、2次避難所希望者多い（40歳の夫婦＋子）

発熱、嘔吐下痢、被災者が一日数件ある

100名入所退所テントがパンク寸前
クリーニング会社が入る9,12,15クリーニングの確認

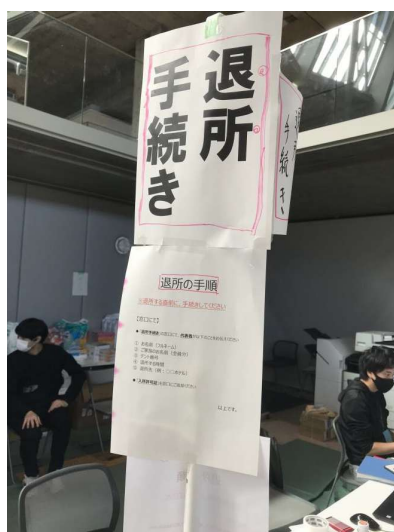
1/12-14

1.5次避難所から、2次避難できない方がいる高齢者、認知症、精神疾患

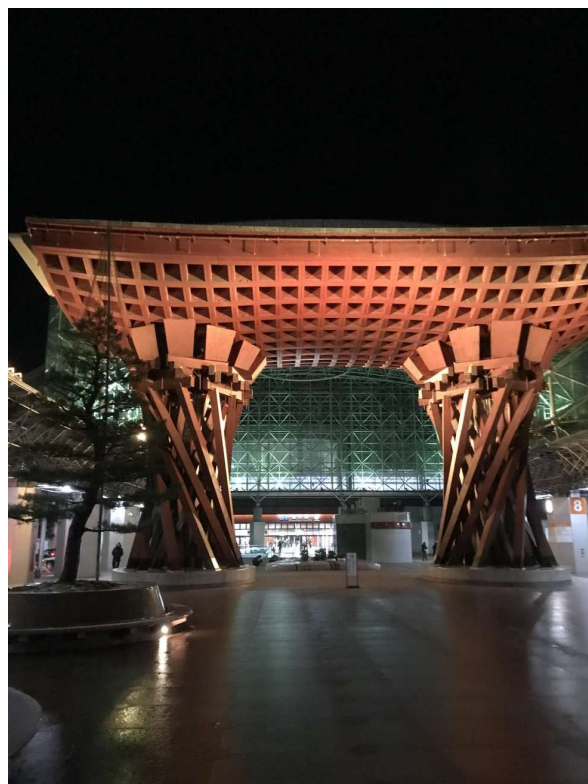
旅行代理店に確認、ホテル・旅館では車いす、一人暮らし要介護者がNGとなってきた

若い世帯のニーズが少なくなる

介護が必要な入所者が確認される



ご清聴ありがとうございました。



白 紙

① 1.5次避難所（金沢市スポーツセンター） における支援活動・アセスメントから避難所 の退所支援まで



静岡県災害派遣福祉チーム（静岡DWAT）登録員
社会福祉法人蒼樹会・特別養護老人ホームさつき園
杉山 弘年

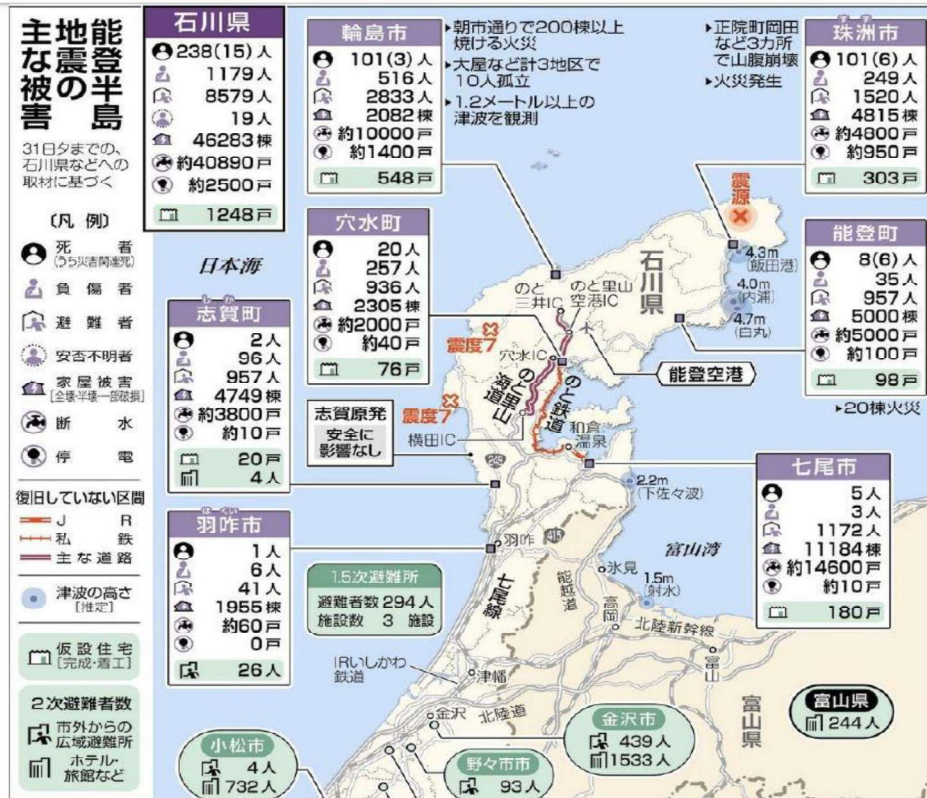


令和6年能登半島地震の概要

- 発生時刻 1月1日16時10分
- マグニチュード 7.6(暫定値)
- 発生場所 石川県能登地方(輪島の東北東30km付近) 深さ 16km
- 震 度 【最大震度7】石川県の志賀町(しかまち)で震度7を観測したほか、北海道から九州地方にかけて震度6強～1を観測
- 地震活動の状況
1日21時00分現在 震度1以上を観測した地震が59回発生(震度7:1回 震度5強:3回 震度5弱:5回 震度4:14回 震度3:28回 震度2:8回)
- 津波警報等の発表状況(1月1日20時30分発表)
津波警報 山形県 新潟県上中下越 佐渡 富山県
石川県能登 石川県加賀 福井県 兵庫県北部



令和6年能登半島地震 各地域の被害状況



中日新聞オンライン
(令和6年2月1日付け)

静岡DWAT登録員の派遣

①1.5次避難所における支援活動

- ・能登北部(輪島市、珠洲市、能登町、穴水町)の要配慮者を、被災地の1次避難所から、ライフラインの整った金沢市内に開設する1.5次避難所にバスで搬送
- ・1.5次避難所でスクリーニングした上で、ホテル等の2次避難所(ホテル、公営住宅、福祉避難所等)や病院に搬送する。
- ・支援には、DWATの他、JMAT、JRAT、看護協会が入る予定。
※1.5次避難所における静岡DWAT登録員の派遣は2月3日で終了
- ・現在、群馬県、石川県、鳥取県、大阪府、神奈川県、栃木県、広島県、徳島県、熊本県のDWATが支援に入っている。

派遣期間	派遣者	活動場所(1.5次避難所)
1/ 8(月)～2/3(土)	各クール1名 (計10クールを派遣)	いしかわスポーツセンター (石川県金沢市 定員400人)

②能登中部における支援活動

- ・能登中部(七尾市、志賀町)における一般避難所において、静岡DWAT登録員が活動
- ・七尾市: 京都府、岡山県、富山県、宮城県、千葉県
- ・志賀町: 静岡県、愛知県、滋賀県、北海道
- ※静岡DWATは1月10日から七尾市、1月20からは志賀町で活動
- ※1月～2月において、静岡DWAT登録員57名(延べ247名)を派遣予定

派遣期間	派遣人数	備考
1/ 10(水)～3/1(金)	各クール2人	4日間を1クールとして、3月1日までに25クールを派遣予定

派遣日程（1・5次避難所）

- ・＜前半＞第 1クール 1月13日（土）～1月16日（火）
- ・＜後半＞第10クール 4月29日（月）～5月 2日（木）



テント配置表 比較

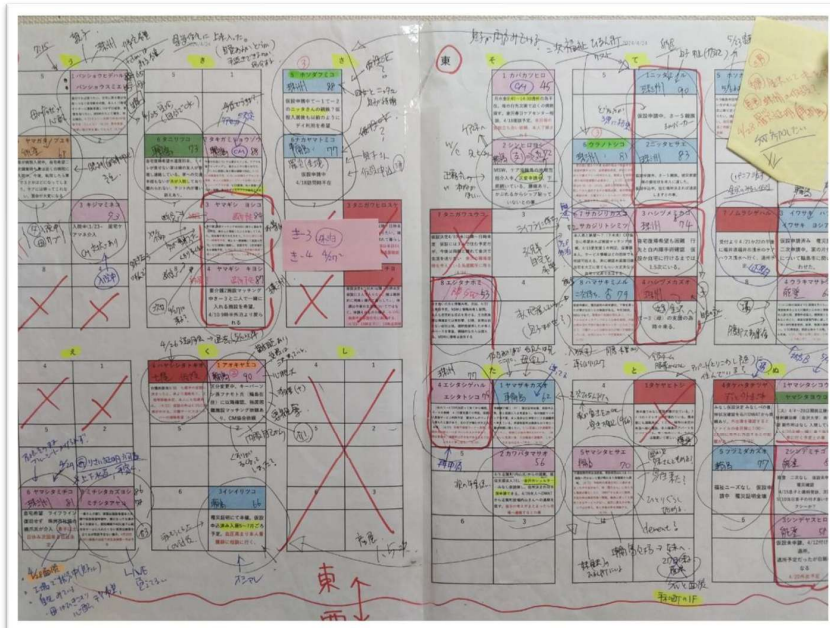


令和6年1月13日



令和6年4月28日

避難所内外支援機関との連携



2次避難者送迎サービスははじめました～

自宅を片付けたい ボランティアの立ち会い
仮設住宅の入居準備 行政での手続き
お車の受け渡し お墓のお手入れ

石川県内から能登半島への交通手段にお困りの方
避難先から目的地まで基本的に無料で送迎いたします。
(金沢駅発着だと大変ありがたいです)

送迎行程のイメージ例

① 日帰りコース
6:00 金沢市内出発 → 10:00 目的地到着
15:00 現地を出发 → 19:00 金沢到着

② 1泊2日コース (宿泊費 2,000円負担)
13:00 金沢市内出発 → 17:00 宿舎に到着
翌日はご自身の予定消化をしてください。
15:00 現地を出发 → 19:00 金沢到着

ご希望される日時などご協力ご対応します。

お申込み方法

お電話もしくはメールにて、希望日程・目的地・目的などをお知らせ下さい。

運営団体：一般社団法人 BIG UP 石巻
電話番号：080-6879-9587
メール：bigup.ishinomaki@gmail.com

活動マニュアル（ぐんまDWAT作成）

【メインリーダー活動マニュアル】

1. 活動概要

■場所 いしかわ総合スポーツセンターメインアリーナ（1、5次避難所）
■内容 1、5次避難所内「なんでも福祉相談」コーナーに配属、入所者の退所支援を行う
■なんでも福祉相談コーナー体制図 ★インカム着用

役割	活動内容	担当
本部コーディネーター	中央センターや本部との調整	群馬
メインリーダー★	メインアリーナの統括	群馬
サブリーダー★	サブアリーナの統括	群馬
データ管理 (DP) ★	データ更新と管理	群馬
ラウンド	退所支援、初回アセス	群馬
ラウンドリーダー★	ラウンド取りまとめ	(ラウンドより2名)

■1日の流れ

時間	月	火	水	木	金	土	日
8:50	朝礼 (DWAT 全員)						
9:00	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)	MSW-ケアマネ (場所: マルメ)
9:15	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)
9:30	DWAT-ミーティング						
10:00	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)	サブメイン (場所: マルメ)
17:30	朝礼 (DWAT 全員)						
18:00	活動終了: 活動報告アップロード						

8:50 朝礼 (DWAT 全員)
9:00 (月・木) 全体会議 (本部会議室)
(月・木以外) MSW 連携会議 (マルメ・パルメ) ★MSW/ケアマネ協会
9:30 DWAT ミーティング
メインアリーナ打合せスペースにて、各種会議内容の共有。メインアリーナ状況や課題の確認、今後の見通しなどを共有、相談、進めているチームから報告が行われる。

4. DWATの活動内容

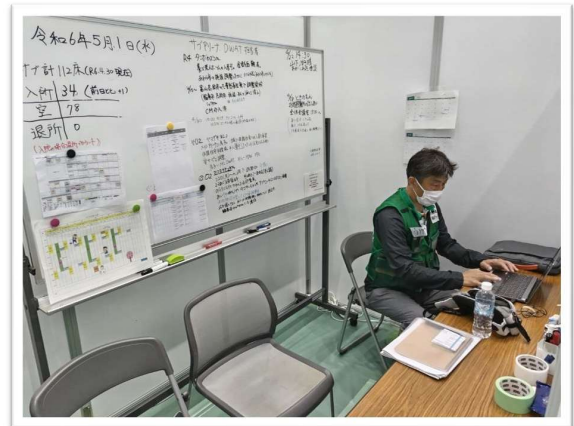
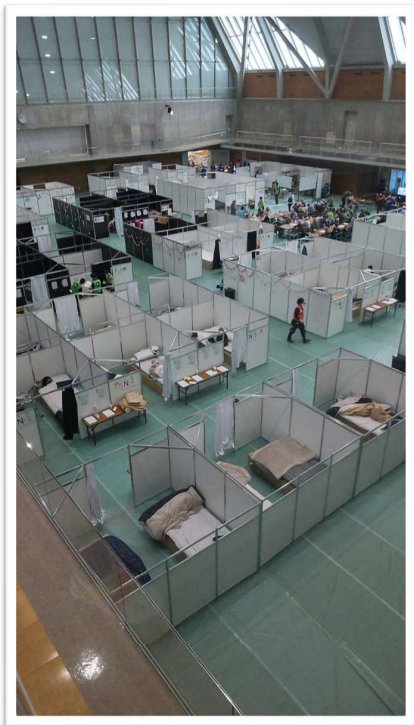
■なんでも福祉相談コーナー リーダーの1日

時間	内容
8:50	応援チームは、本日のメンバー表に記入いただき、ログ担当へ渡す。(毎日) DWAT 対象者一覧を、下記のチームへ配属 (4部) (JRAT・介護・保健師・看護) ★MSW、ケアマネ協会はサブアリーナ担当 DWAT に配属してもらう DWAT 朝礼 場所: DWAT 記録テーブルあたり 出席: DWAT 全員 開催日: 毎日 内容: ・活動開始チームの自己紹介 ・活動終了チームの挨拶 ・体調確認、J-SPEED 廃止の周知 ・入退所状況の確認 (昨日から今朝の動き、本日の入退所) ・本日の主な会議予定 ・ラウンド担当表の確認 ・インカムの着脱確認 ・「ラウンドエリア担当表」、「対象者一覧」をラウンド担当へ渡す
9:00	全体会議 場所: 2階本部会議室 出席: DWAT メインリーダー (+群馬 DWAT) 開催日: 月・木・土 内容: 県と1.5次避難所の全支援団体との合同会議、入退所・感染状況、イベントの案内などのアウェアネスがある。各団体からの報告・提案・質問等 サブアリーナミーティング 場所: 2階本部会議室 (月・木は全体会議決の要実施) 出席: サブアリーナ 出席: サブアリーナリーダー、地域リーダー 開催日: 月・木・土 水金金は9:00～サブアリーナにてサブアリーナリーダーが出席 9:30 保健師の朝礼に参加 場所: 保健師ブース 出席: DWAT メインリーダー、群馬 DWAT 開催日: 毎日 月・木は、全体会議が終了後 内容: 保健師、介護、看護、DWAT の合同会議

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:50	DWAT リーダーミーティング エリアリーダーと全体会議の共有、各チーム員への指示 10:00 DWAT ミーティング 場所: 2階本部会議室 出席: メインリーダー、サブアリーナリーダー、群馬 DWAT、MSW 開催日: 月・木 内容: 各チームとサブの連携の共有、情報共有 事前に石川県より文書の資料を金沢市に届けてもらえ、様式文書、黄色マーカーが入っている方のラウンドを依頼し、退所に向けての動きを把握し会議で報告できるようにしておく。 ・退席申請の有無 (この日の間に申し込みしているか、人数決定になっているか等) ・自宅退所 (このタイミングが回復したかどうか、自宅復帰ができたか、等。どんな条件が整えば自宅に退所を希望しているのか確認が必要) 午前 各団体からの問合せ対応、電話対応、チーム員からの相談対応 12:00 休憩 各自昼食 (ラウンドは、エリアごとで昼食を摂っている) 14:00 医療・保健・福祉連携会議 場所: 2階本部会議室 出席: DWAT メインリーダー、群馬 DWAT 開催日: 月・木・土 内容: 県、YMCA、保健師チーム、看護協会、JRAT、MSW協会、JDA-DAT (栄養士会)、ケアマネ協会、子ども支援団体、DWAT にて、チームに関する共有など 午後 各団体からの問合せ対応、電話対応、チーム員からの相談対応 17:30 DWAT 終了 場所: DWAT 記録テーブルあたり 出席: DWAT 全員 開催日: 毎日 内容: ・退所支援担当者、本日と明日の入退所状況報告 ・共有事項の報告 ・各チームリーダーより共有事項 ・群馬コーディネーターより共有事項 ・データ管理より共有事項 ・明日の予定について ・午後から活動開始したチームの自己紹介 ・インカムの返却 (電源 OFF) 18:30 片付け 解散						

全体会議	月	火	水	木	金
9:00～	9:00～	9:00～	9:00～	9:00～	9:00～
朝礼 (DWAT 全員)	10:00～	10:00～	10:00～	10:00～	10:00～
朝礼 (DWAT 全員)	10:00～	10:00～	10:00～	10:00～	10:00～

サブアリーナ避難所

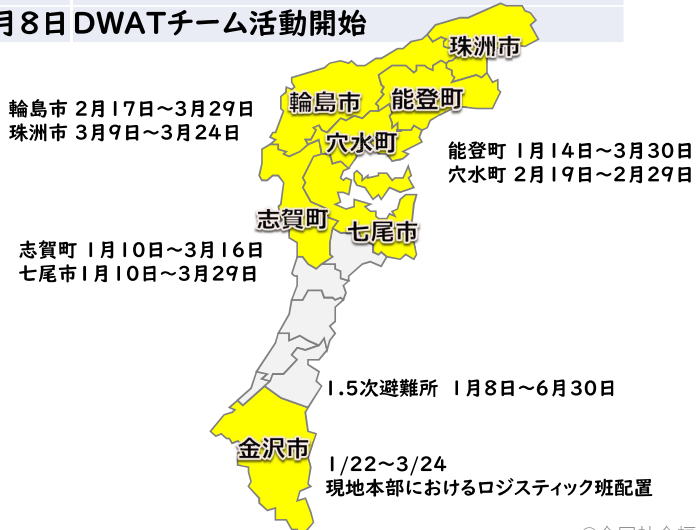


令和6年能登半島地震におけるDWAT活動

初動

- 1月1日 発災
- 1月2日 石川県庁 石川県DWATチーム員へ派遣に係る調査
- 1月4日 厚労省、石川県、全社協とオンライン会議
- 1月5日 石川県から全都道府県へDWAT派遣要請
- 1月6日 全社協、石川県庁入り 活動方針検討
- 1月8日 DWATチーム活動開始

全都道府県登録員8,000名から、延べ1,300名超のチーム員が活動
4月～6月は、1.5次避難所を拠点として活動。
※能登地域はオンコール体制
※全都道府県が活動を展開した初めての実践。



【DWATの活動例】

- ① DWATが、認知症高齢者を抱える家族が避難所で孤立化している状況を把握し、地域包括支援センターに連絡し、介護サービス提供に繋げた。
- ② 障害児が避難所内でパニック頻発し、母子が孤立するなか、DWATが提案し、避難所内に落ち着けるスペースの確保を行った。
- ③ 避難所内で対立する住民同士間にDWATが仲立ちし、居所移転の共同作業を進めることで、支えあう関係を構築した。

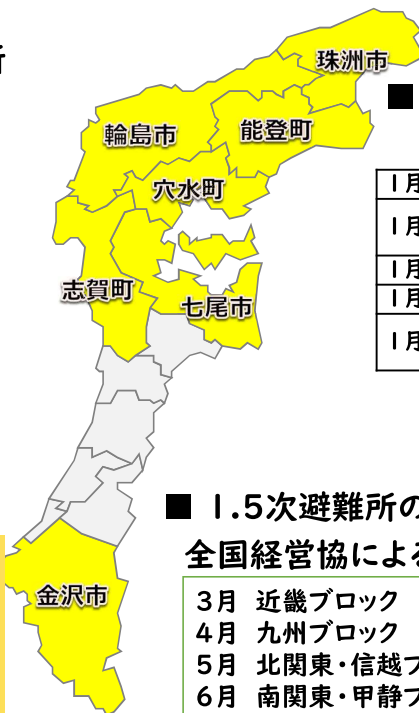
など

さまざまなルートで全国の福祉関係者が駆けつけた令和6年能登半島地震

■ 能登北部・能登中部の一般避難所



■ 1.5次避難所のメインアリーナ



■ 能登北部・能登中部の福祉施設 介護職員等の応援派遣

1月1日	発災
1月10日	厚労省から社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣依頼(1/12登録締切)
1月13日	応援派遣調整開始
1月14日	第1弾応援職員が石川県に向けて出発
1月15日	応援派遣開始～以降、6月末までに63施設に1,358名を派遣

■ 1.5次避難所のサブアリーナ(要介護者のエリア) 全国経営協による介護職員のブロック派遣

3月 近畿ブロック	7月 中国・四国ブロック
4月 九州ブロック	8月 北海道・東北ブロック
5月 北関東・信越ブロック	9月 東海・北陸ブロック
6月 南関東・甲信ブロック	

@全国社会福祉法人経営者協議会

11

令和6年能登半島地震と社会福祉法人



A) 利用者を支え続けた事業者

⇨支援が必要な他の被災者への支援は？

B) インフラが復旧するまで全避難を選択した法人

⇨一度、離職した職員を集め、事業再開に至るには困難も

C) 地域を支え続けた法人

⇨一法人の取組だけでは限界

国民・地域住民が考えるエッセンシャルワーカーは…？

@全国社会福祉法人経営者協議会

12

災害対応から考える社会福祉法人の公益性とは



民意に支えられていること

- ✓ 平時から、一事業者としてだけでなく、幅広い地域住民に向けた取組の必要性
 - ✓ 施設のBCPとともに、地域を視野に入れた法人全体のBCPの検討
 - ✓ 社福同士、行政、社協、他の関係団体など多様な関係者との連携・協働
- いざというときにふるさとを守り抜く社会福祉法人の経営基盤強化

国民に、地域住民に訴えていく



制度論から実践論へ

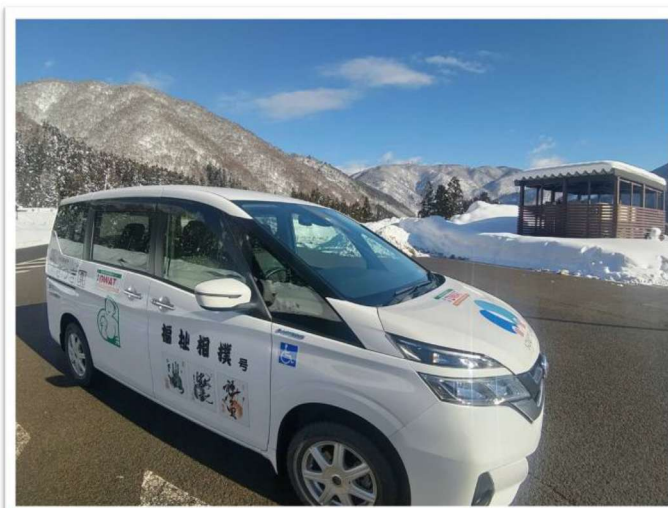
@全国社会福祉法人経営者協議会

13

D W A T の周知・啓発活動



14



ご清聴ありがとうございました。



令和6年度静岡DWATスキルアップ研修



七尾市・志賀町における活動 被災地の自立支援を促す地域移行まで



災害派遣福祉チーム静岡DWAT登録員
社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
地域福祉活動部門主任 渡邊 麻由

自己紹介

所 属 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会
氏 名 渡邊 麻由
経 歴 福祉系大学(人文学部人間福祉学科介護福祉専攻)卒業
平成19年 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会在宅福祉サービス部門
認知症対応型通所介護事業所配属
平成30年 社会福祉協議会事務局異動 地域福祉活動部門配属
令和 4年 静岡社会福祉協議会福祉企画部経営支援課兼地域福祉課(人事交流)
令和 6年 長泉町社会福祉協議会事務局へ帰任
地域づくり、災害関連事業

【災害関連の経験(令和3年度以降)】

令和 3年度 熱海市避難所災害派遣福祉チーム静岡DWAT派遣
避難所活動開始時第3クール、派遣終了後仮説住宅移行時
令和 4年度 台風8号松崎町災害ボランティアセンター(先遣・立ち上げ)
台風15号静岡災害 静岡県災害ボランティア本部・情報センター
令和 5年度 沼津市災害ボランティアセンター(派遣・立ち上げ)
能登半島地震災害派遣福祉チーム静岡DWAT事務局
3市(金沢市・志賀町・七尾市)1/8~第1クールから第25クール
令和 6年度 沼津市災害ボランティアセンター(派遣・立ち上げ)
能登福祉救援ボランティアネットワーク能登町就労B・輪島市特養支援
石川県能登町災害ボランティアセンター派遣7/10から7/16
石川県珠洲市災害ボランティアセンター派遣11/2から11/9
※在宅避難者(生活者)を対象に被災者支援を実施

資格等 介護福祉士(県会員)
社会福祉士(県会員)地域福祉
介護支援専門員
災害派遣福祉チーム静岡DWAT登録員
女性消防団 等
その他 個別支援から地域支援への展開を実践中
コミュニティワーカー
静岡県社会福祉士会災害対策委員会主催
災害ケースマネジメント研修講師
静岡県ボランティア協会主催研修講師
群馬県DWAT振り返り会話題提供
静岡県立短期大学介護福祉専攻DWAT活動紹介
和歌山県内、新潟県内等で災害関係研修講師

地域福祉活動部門長
全国福祉教育推進員
第1層生活支援コーディネーター
長泉町認知症施策委員会学識経験者
チームオレンジ養成講師
魅力発見セミナー講師

令和4年度長泉町立北中学校PTA会長
学校運営協議会構成員
令和4年度長泉町子ども子育て委員
令和5年度長泉町子ども会連合会理事
令和6年度長泉町消防本部女性消防団
第38期静岡県社会教育委員



静岡DCAT第1回目の派遣
真備町1ヶ所の避難所

平成30年8月水害

真夏×災害
体育館避難
熱中症対策



静岡DWAT第2回目の派遣
県内被災

熱海市内ホテル避難所

令和3年7月土砂災害

コロナ禍×夏×災害
ホテル避難
感染症対策

ライフライン、空調完備、個室(プライバシー)



静岡DWAT第3回派遣
能登半島地震県庁事務後方支援
令和6年1月

真冬×災害
遠方の避難所
感染症対策



静岡DWAT第3回派遣
能登半島地震常駐・巡回
令和6年1月

真冬×災害
公民館避難
感染症対策

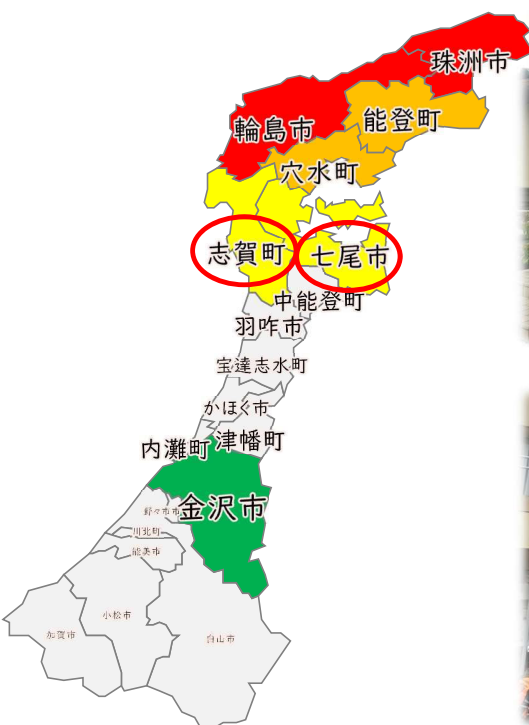
能登半島地震

七尾市・志賀町出逢った事例を交えながら
2つのワークします



能登半島地震

他県DWATと連携しながら避難所巡回及び常設による活動を実施



支援者ミーティング

医療・保健・公衆衛生・リハビリ・栄養・歯科など

さまざまな専門職チームと連携し避難所生活を送る

避難者の災害関連死を防いでいる



D24H・支援者オープンチャットの活用



避難所支援者グループ

支援者ミーティングで保健師からDWATへの要望。

「M地区の公民館の避難者は高齢者が多い。DWATで見に行ってくれますか？」

M地区の公民館に到着。

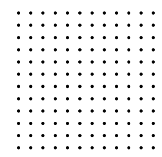
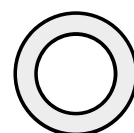
避難所運営責任者にDWATとは何か説明してください。

必要に応じて常設型の交渉をしてください。

災害派遣福祉チーム静岡DWAT勉強会

映像2分

DWATを言語化するワーク





事例検討①

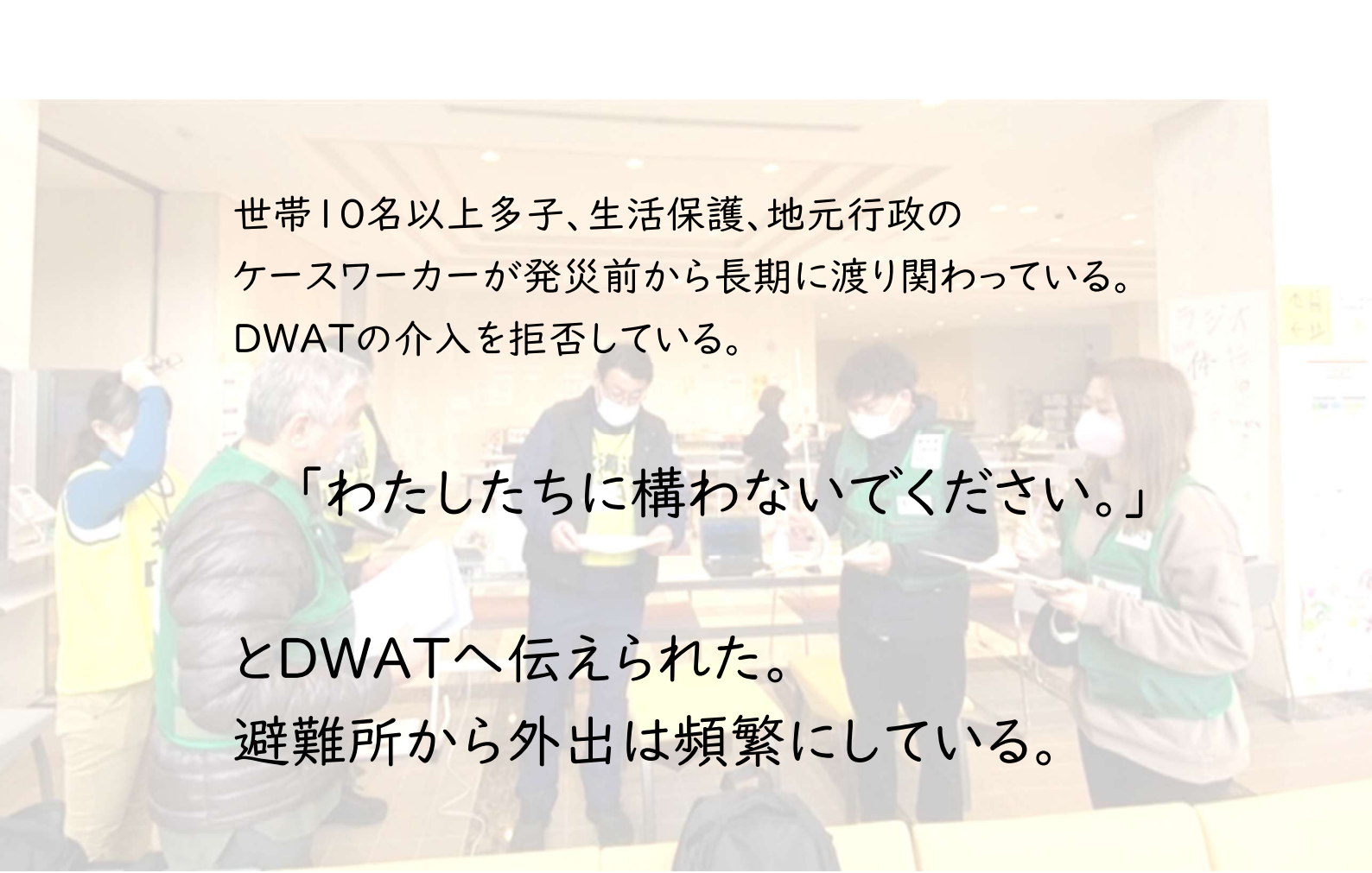
避難者の高齢女性がDWATに
声をかけてきた。

「地震が起きてから一度も着替えてないの。
身体が辛いから着替えさせてくれる？」

自力で起き上がれそうになく、足のむくみも
ひどい。

DWATとしての対応を考えてください。

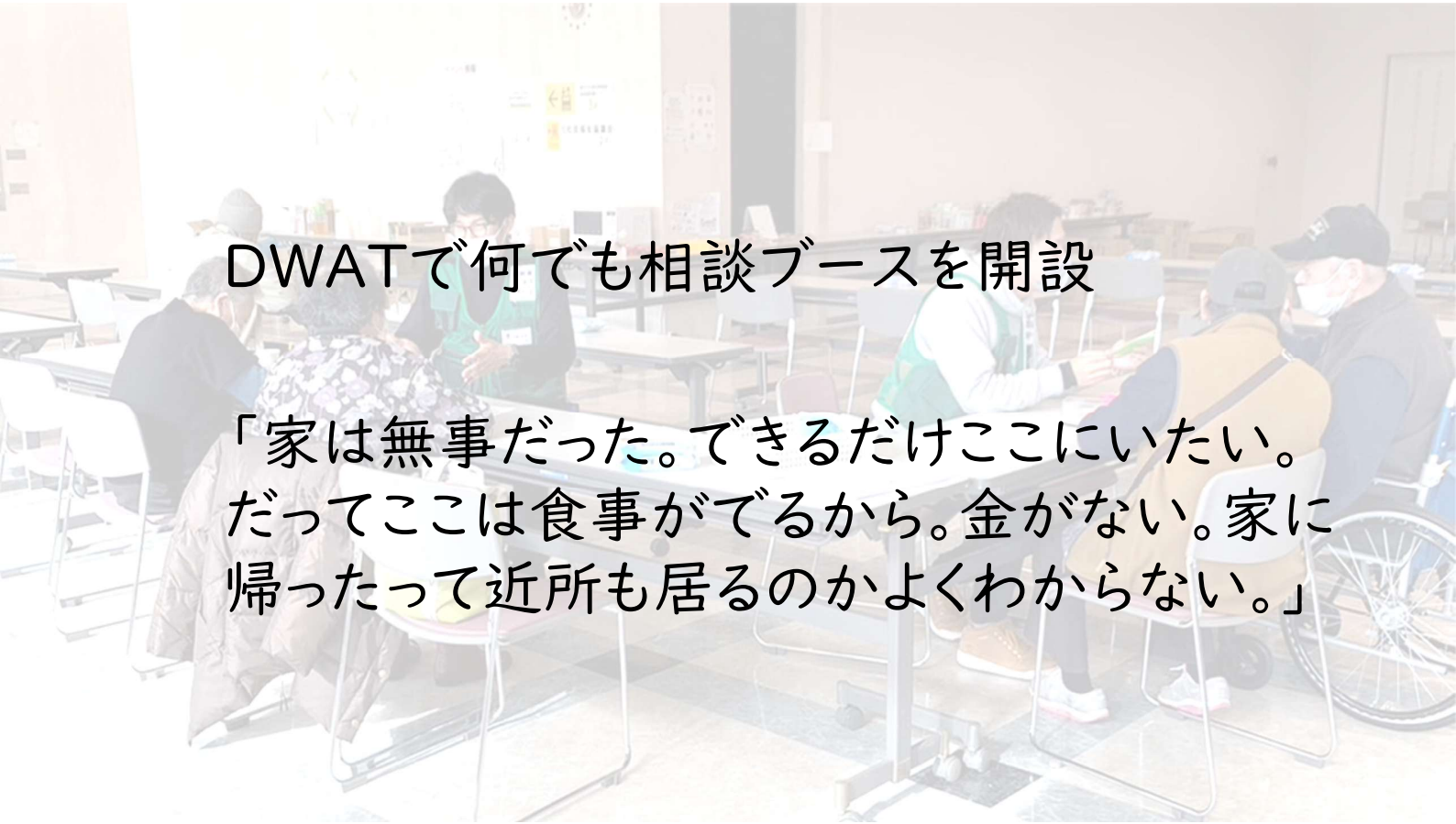




世帯10名以上多子、生活保護、地元行政の
ケースワーカーが発災前から長期に渡り関わっている。
DWATの介入を拒否している。

「わたしたちに構わないでください。」

とDWATへ伝えられた。
避難所から外出は頻繁にしている。



DWATで何でも相談ブースを開設

「家は無事だった。できるだけここにいたい。
だってここは食事がでるから。金がない。家に
帰ったって近所も居るのかよくわからない。」

事例検討②

DWAT避難所撤退に伴い
避難所運営及び支援を地域へ



運営責任者(館長)から相談。

「家は無事なのに、食事が目的で帰らない人が多い。昼間はみんな外に行っているくらい元気だからもうここを閉めたい。」

この相談に対し、DWATは
誰にどのような働きかけをしますか？

懸念事項

- ・高齢者が多い
- ・認知症と思われる高齢者の存在